番 号 3 年 請 順 第 2 号 件 名 安全、安心な保育の実現について 中央区渡辺通五丁目 1 - 26 - 307 福岡市保育団体連絡会 代表 鈴木 純子 外 12,193 人 紹介 議員 山口(湧) [筆頭]、中山、松尾、綿貫、堀内、倉元、荒木、森(あ) 分割付託 なし コロナ禍は、保育が今日の社会にとってエッセンシャルワークであることを改めて明ら、保育現場は今、感染予防に細心の注意を払いながら子どもたちの保育を行っていますが、保育することは難しい状況です。一例を挙げると、マスクは保育者と乳幼児の関係づくります。ことはないなければ、ないまなどだされておいますが、保育することは難しい状況です。一例を挙げると、マスクは保育者と乳幼児の関係づくります。ことは難しい状況です。一例を挙げると、マスクは保育者と乳幼児の関係づくります。ことは難しい状況です。一例を挙げると、マスクは保育者と乳幼児の関係づくります。ことは難しい状況です。一例を挙げると、マスクは保育者と乳幼児の関係できる。	が、3密を避けて を困難にします。
中央区渡辺通五丁目 1 - 26 - 307 福岡市保育団体連絡会 代表 鈴木 純子 外 12,193 人 紹介議員 山口(湧) 筆頭、中山、松尾、綿貫、堀内、倉元、荒木、森(あ) 分割付託 なし コロナ禍は、保育が今日の社会にとってエッセンシャルワークであることを改めて明ら 保育現場は今、感染予防に細心の注意を払いながら子どもたちの保育を行っていますか 保育することは難しい状況です。一例を挙げると、マスクは保育者と乳幼児の関係づくりま	が、3密を避けて を困難にします。
請願者 福岡市保育団体連絡会 代表 鈴木 純子 外 12,193 人 紹介議員 山口(湧) [筆頭]、中山、松尾、綿貫、堀内、倉元、荒木、森(あ) 分割付託 なし コロナ禍は、保育が今日の社会にとってエッセンシャルワークであることを改めて明ら 保育現場は今、感染予防に細心の注意を払いながら子どもたちの保育を行っていますか 保育することは難しい状況です。一例を挙げると、マスクは保育者と乳幼児の関係づくりを	が、3密を避けて を困難にします。
分割付託 なし コロナ禍は、保育が今日の社会にとってエッセンシャルワークであることを改めて明ら 保育現場は今、感染予防に細心の注意を払いながら子どもたちの保育を行っていますか 保育することは難しい状況です。一例を挙げると、マスクは保育者と乳幼児の関係づくり	が、3密を避けて を困難にします。
コロナ禍は、保育が今日の社会にとってエッセンシャルワークであることを改めて明ら 保育現場は今、感染予防に細心の注意を払いながら子どもたちの保育を行っていますか 保育することは難しい状況です。一例を挙げると、マスクは保育者と乳幼児の関係づくり	が、3密を避けて を困難にします。
保育現場は今、感染予防に細心の注意を払いながら子どもたちの保育を行っていますが 保育することは難しい状況です。一例を挙げると、マスクは保育者と乳幼児の関係づくりを	が、3密を避けて を困難にします。
また、子どもたちには身体的距離を空けることは無理です。少しでも3密を緩和するため 室、きめ細かな対応ができるように多くの保育者が必要です。安全を保障していくのは力 しかし、市が進める待機児童対策は、増築、増員のマンモス保育圏化、小規模保育施設 育施設の活用が中心です。保育室や園庭は最低基準ぎりぎりで、園庭のない施設も少なく また、企業主導型保育施設を含む認可外保育施で、公的無過失保険に加入しているが 全ての子どもたちが、社会福祉法人の認可保育所で安全で安心に保育されるよう、以下 ます。 1. 全ての子どもが、適正規模の社会福祉法人の認可保育所で保育されるよう、保育園 2. 3密をなくし、安全で行き届いた保育ができるように、保育士配置基準、保育室の 自で見直し、改善すること。 3. 保育者の賃金を専門職にふさわしく引き上げられるように、市独自の補助を増額する。 4. 全ての子どもが質の高い保育を無償で受けられるようにすること。 5. 国に保育予算増額と保育の基準改善を求める意見書を提出すること。	大人の役割です。 役や企業主導型保 くありません。 施設は僅かです。 下の事項を請願し 園を増やすこと。 の面積基準を市独
審 査 令和 年 月 日 結 委員会	
	日
年月日 本会議 果	日

福岡市議会議長

阿部真之助操

請願者

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通5丁目1-26 アロー103号館307号室 (TEL・FAX 092-781-1995)

福岡市保育団体連絡会

代表 鈴木 純子



外 /2,/93 入



請願の主旨

コロナ禍は、保育が今日の社会にとってエッセンシャルワークであることを 改めて明らかにしました。

保育現場は今、感染予防に細心の注意をはらいながら子どもたちの保育を行っていますが、三密を避けて保育することは難しい状況です。一例をあげると、マスクは、保育者と乳幼児の関係づくりを困難にします。また、子どもたちに、身体的距離をあけるということは無理です。少しでも、三密を緩和するためには、広い保育室、きめ細かな対応ができるために多くの保育者が必要です。安全を保障していくのは、おとなの役割です。

しかし、福岡市がすすめる待機児童対策は、増築・増員のマンモス保育園化、 小規模保育施設や企業主導型保育施設の活用が中心です。保育室や園庭は最低 基準ギリギリ、園庭のない施設も少なくありません。

また、企業主導型保育を含む認可外保育施設で、公的無過失保険に加入している施設はわずかです。

すべての子どもたちが、社会福祉法人の認可保育園で安全で安心な保育をされることを求めて請願します。

請願事項

- 1 すべての子どもが、適正規模の社会福祉法人の認可保育園で保育されるよう、保育園を増やしてください。
- 2 三密をなくし、安全で行き届いた保育ができるように、保育士配置基準、 保育室の面積基準を福岡市独自で見直し、改善してください。
- 3 保育者の賃金を専門職にふさわしく引き上げられるように、福岡市独自の 補助を増額してください。
- 4 すべての子どもが質の高い保育を無償で受けられるようにしてください。
- 5 保育予算増額と保育の基準改善について、国に対して意見書をあげてくだ さい。